

のびのび 田底っ子

第13号

文責：校長 益永 一幸

家庭学習の習慣化をお願いします

植木北中学校区小中一貫型小学校・中学校「きらめきプラン」の家庭学習の具体的取組項目には、下表のことが書かれています。これは家庭学習を各家庭で推進していく目安です。

小1・2年	小3・4年	小5・6、中1年	中2・3年
毎日取り組んで (宿題) 20分以上	毎日取り組んで (宿題) プラスして (自主学習) 40分以上	進んで (宿題・自主学習) 課題を見つけて 5・6年→1時間以上 中1→2時間以上	進んで 計画的に 目標に向かって 中2→2時間以上 中3→3時間以上

これは、熊本市及び全国のスタンダード（学習時間「学年×10分」）な目安ですが、お子様の家庭学習の様子はいかがでしょうか？できていますでしょうか？

家庭学習は、学校の授業で学んだことを定着させることが目的の一つです。また、自らが学んでいく力を身に付けるための学習習慣を作ることも大きな目的と言えます。学校だけの学習では、学習が十分定着しないし、自ら学ぼうとする学習習慣はこれからの時代は、生きる力を身に付けるうえで重要な資質・能力になります。

学校では、家庭学習の意味や効果的な学習方法を指導していきますので、家庭では、次の2点をご支援いただくと助かります。

① 学習する時間を決めてください

お子様の習い事や家庭の状況に合わせた、無理のない学習時間を話し合って決めて実行してください。計画性のない学習時間は学習効果が薄くなりやすいです。

② 学習に集中できる環境をつくってください

同じ時間の学習でも、環境によって学習効果に大きな違いが出てきます。子どもの身の回りには、勉強するよりも魅力的なもの（ゲーム、おもちゃ、テレビ）や大きな声や音がうるさかったりする環境があります。できるだけ、学習に集中できる環境をつくってください。



今年度は、「平日の引き渡し」「小中の順序は関係ない」という設定で行いました。車の一方通行の流れも検証しました。

児童引き渡し訓練 ご協力ありがとうございました

昨日の小中合同の児童生徒の引き渡し訓練では、ご多様な中、ご協力ありがとうございました。熊本地震は、子どもたちは家にいた時間帯で起きた大地震でしたが、学校にいた時間だったらどうしていたのか想像すると、訓練の必要性を感じます。

今回は、合志川が氾濫水域に達する恐れがある場合における、迅速で安全な保護者引き渡しを行う訓練でした。児童引き渡しを実施する場合には、「すぐーる」での通知で行うこととなります。日頃から通知を確認することもお願いいたします。